

nouvelle Fontaine

発行日 2022年7月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

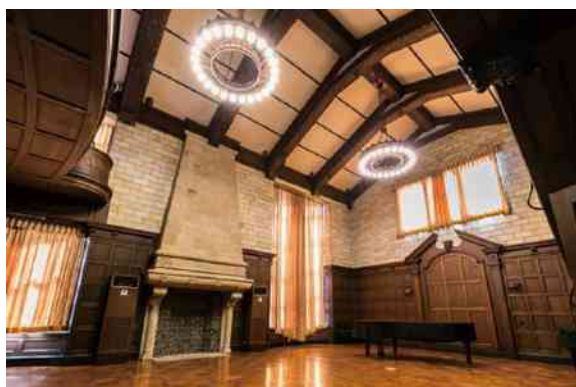
TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

90歳の自泉会館(国の登録有形文化財)で

岸和田文化事業協会20周年・岸和田市市制施行100周年



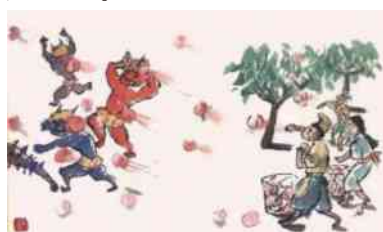
岸和田文化事業協会は、令和4年(2022年)4月1日に20周年を迎えました。

数年前より、20周年には市民参加の音楽劇をしたいとの願いがありました。どんな作品がふさわしいのか。既製のものではなく岸和田らしい作品を一から作れないか。様々に考える中、市民よりちらほらと聞こえてきた声がありました。「せっかく素晴らしい作品があるのだから、ぜひ再演してほしい」それが、オペレッタ「桃と赤鬼」です。

原作は、市制施行70周年記念として平成4年11月に刊行された「岸和田のむかし話」に掲載されている足立俊氏の作品です。それを基に、岸和田市在住でこれまで数々の舞台作品を手がけてきた作家松本則子氏が脚本・演出、同じく岸和田在住の作曲家豊田光雄氏が音楽を担当し、舞台へ生まれ変わったのが「オペレッタ『桃と赤鬼』」でした。岸和田ゆかりの方々による岸和田を代表する作品です。

平成27年(2015年)11月に自泉会館ホールで初演を迎え、その後3館(マドカホール・浪切ホール・自泉会館)合同事業として再演。会場をマドカホールに移し、ホールの大きさに合うようバージョンアップされました。

3度目の上演となる今回は、自泉アーティストバンク登録者を中心とした大人



バージョンと子どもバージョンの2パターンの作品となります。子どもバージョンでは、一般公募で選ばれた子どもたちがメインキャストを務めます。

音楽劇「桃と赤鬼」

公演日: 2023年2月5日(日)

(大人・子どもバージョンの2回公演)

会場: 岸和田市立自泉会館ホール

入場料: 2000円

定員: 各40名(新型コロナウイルス感染状況により変更可)

この音楽劇「桃と赤鬼」は、来年2月公演を予定しています。岸和田文化事業協会会員・関係者の皆様に力をお借りし、今後も語り継がれる素敵な作品にしたいと思っています。

さらに本年11月には岸和田市市制施行100周年を迎えます。

それを記念し、岸和田市が「塩田千春展 Home to Home」を約2か月にわたり国の有形文化財である自泉会館で開催します。

ホールでは岸和田市出身である塩田氏の代表作、糸を使った大規模なインスタレーション、展示室ではパネルや映像作品等の展示と、自泉会館の建物全体を使った展覧会となります。

また8月28日(日)には立体紙切師による市民向けのワークショップも開催します。

塩田千春展 Home to Home

開催日時: 2022年8月11日(木・祝)～9月25日(日)

平日: 10時～18時

土日祝: 10時～19時(入場は開場30分前まで)

会場: 岸和田市立自泉会館

入場料: 500円

※但し、高校生以下は学生証を提示すれば無料

詳しくは岸和田市ホームページをご覧ください。

岸和田市100歳、自泉会館90歳、岸和田文化事業協会20歳。記念すべき年の企画です。皆様のお越しをお待ちしております。



総会のもよう



岸和田市副市長戎井氏

去る5月21日（土）午後1時より、令和4年度定時総会が行われました。

ご来賓者3名、出席会員29名、委任状提出会員102名で開会し、小末もとえ理事の司会で総会が進行されました。

齊藤会長から「コロナ感染症拡大の影響を受けて定時総会開催の中止が続き、大変残念で辛い時期を過ごして参りましたが、本日このように感染対策を継続しながら通常通りの開催が可能となりました事を非常に喜ばしく思います。」との挨拶がありました。

続いてご来賓の岸和田市副市長戎井氏からは「市政施行100周年及び文化事業協会20周年となるおめでたい記念の年でありますので、記念事業の成功はもとより、今後とも市民共有の財産である文化を共に守り育てていきましょう。」と激励の言葉をいただきました。

議事案件はまず令和3年度の事業報告、決算報告、監査報告の全てを一括審議し、拍手をもって承認されました。

次に令和4年度の事業計画（案）予算（案）を一括審議しこちらも承認され総会は終了しました。

今回の総会では美術家の松本悠氏をお招きし、速筆画で総会の様子を描いていただくという試みを行いました。総会終了後にはそのラフ画を展示し、各々見学することができました。

仕上がったその絵は、現在事務所に展示しています。ぜひお越しになりご覧ください。

総会の様子を法廷画風に描く

松 元 悠



【プロフィール】

松元 悠 | MATSUMOTO Haruka

版画家、美術家。近年の個展に「架空の竜にのって海をこえて 幻の島へ」(kara-Sギャラリー、京都、2021)、「活蟹に蓋」(三菱一号館美術館、東京、2019)、グループ展に「第3回 PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2022」(京都市京セラ美術館)、「一歩離れて / A STEP AWAY FROM THEM」(ギャラリー無量、富山、2021)、「群馬青年ビエンナーレ2021」(群馬県立現代美術館)、「HER / HISTORY」(岸和田市立自泉会館)など。

現在、NHK大津放送局やNHK京都放送局で法廷スケッチを担当している。

この度は、このような摩訶不思議なご依頼をいただきありがとうございました。写真や動画など優れた表現メディアがある中で、あえて「絵」で残す取り組みに感銘を受けました。

今回の総会は、新型コロナウイルスの影響で長らく対面での開催が叶わなかった中、ようやく実施されたものと伺っております。コンサートや展覧会などの開催が難しい中、試行錯誤をされながら次世代に文化を繋いでおられる皆様の活気が伝わるように描こうと努めました。

岸和田文化事業協会の皆様による画期的な発信のお手伝いことができましたことを、大変光栄に思います。今後もさまざまな人が関わり合い、岸和田市の文化が築かれていくことを願っております。



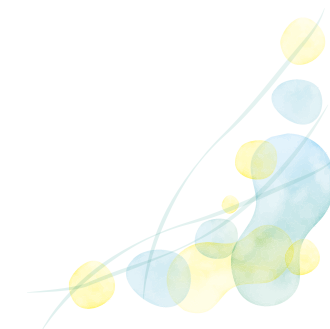
総会のもよう(法廷画風)



岸和田市副市長戎井氏(法廷画風)



松本悠氏 代表作品より



タイトル: 碑をキザむ(黒鳥山公園)

技法・素材: リトグラフ、BFK紙

イメージサイズ: 490×650mm

制作年: 2020

『熊沢友雄日記』

～岸和田藩士の暮らしをたどる～



嘉永五年(1852)から明治二十八年(1895)までの間記述された『熊沢友雄日記』。このページでは岸和田まつり関連の日記を抜粋してご紹介していきます。

※月日は新暦

明治六年 (1873)

七月七日 (旧六月十三日)

今日、旧祇園社祭日たるの処、
市中尚太鼓台を出し神拝をなす
此節①新旧両暦を用ひ、
神祭、仏の縁日等都て両度宛有之に至る

八月十三日 氏神②祇園社祭礼日たりとも平日の如し、
民尚旧暦を守り、新暦を奉せず、…

①新旧両暦＝新暦はなじみ難い

②祇園社＝岸城神社

明治八年 (1875)

七月十五日 (旧六月十三日)

旧暦氏神神祭たるに於て、
町毎より太鼓台を出し賽す

八月十三日 新暦に依て氏神並当国一宮④大鳥社
祭礼たり、町々より太鼓台出る
旧暦に取て盂蘭盆会たり
今日より祖先の霊を迎へ、
之を祭ること例年の通

④大鳥大社



明治七年 (1874)

八月十一日 明後十三日岸城神社御祭日たるに付、
町郷より檀尻を出し社参するの趣にて
市中甚喧嘩たり

八月十二日 夕掛と唱へ町々より檀尻を出す、
市中雑踏云ふ計りなし

八月十三日 氏神祭典に付檀尻出し、
市中近日無之賑也
ソモソモ昨秋祭式の節
町浜より檀尻を出し、
神拝せん事を切に県庁に請へるに、
許可無之③檀尻は損有て益無く、
爾今(じこん)之を出すへからさるの旨
嚴令有之市中依て無益の長物と見做し、
廉価に売却せんの噂等有之に、
本年如何の詮議にや、上より竊(せつ)に
願出るに於ては許可あるべきの由、
内命有之 上に於て如此常識見無之、
下之方向に迷ふもまた宜なり

③県庁の見解＝檀尻は有害無益、無用の長物、
安価で叩売れ

暦が変わるのは大変な混乱があったことでしょう。長い間慣れ親しんだ行事は、それぞれの季節ごとに体に染み込んでいるはず。なかなか馴染めないのも無理はなかったと思われます。県庁の件では、お役所も混乱を抱えていた様子が窺えます。だんじりが曳けるのか否か。人々の心配と祭礼を待ち焦がれる気持ちは、コロナ禍の私たちと重なるところが有りますね。

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

岸和田七宮詣
岸和田の神社を訪ねる ④

延喜式内社、和泉國四之宮
積川神社



本殿は、正面から見ることはできません。
この写真は積川神社より提供していただきました。

積川神社は、第十代崇神天皇の御代にこの地に創建されたと伝わっています。ということは、約1800年くらい前ですね。積川の地名は、前に牛滝川、後ろに深山川と高低相会し「川が積み重なる」ところから由来しています。

昔の氏地は、牛滝川に沿って（現）積川町から（現）磯上町まであったそうで、遠方の氏子が参拝できるよう、中間地点である小松里町字北額（現・額町）に遥拝所が設けられました。

霊龜二年（716年）、延喜式神名帳ができた延長五年（927年）より二百年も前、河内國を分けて和泉國が出来たとき、和泉五社の制度が定められました。

五社各社のご祭神は一之宮から順に、地神五代の順、天照皇大神・天忍穗耳尊（あめのおしほみのみこと）・瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）・彦火火出見尊（ひこほほでみのみこと）・鷗草茸不合尊（うがやふきあわせのみこと）に祀られており、鷗草茸不合尊と玉依姫の御子が神武天皇になります。

<和泉五社>

総社＝和泉井上神社、一之宮＝鳳神社（鳳大社）、二之宮＝聖神社、四之宮＝積川神社、五之宮＝日根神社

三間社流造・正面千鳥破風付・桧皮葺きの本殿は、慶長七年（1603年）に豊臣秀頼公が片桐旦元を普請奉行として大修理を加えられ、安土桃山時代の優雅広大なその様子を伝えています。大正三年に特別保護建造物（国宝）となり、昭和25年の法改正により重要文化財に指定され、平成28年に修復されました。

78代目にあたる積川宮司にいろいろとお話を伺い、收藏されている扁額や神輿を見せていただきました。

「正一位積川大明神」の扁額は、寛治四年（1090年）白河上皇が熊野へ行幸の途、積川神社を遥拝された折に書

かれたと言われている、鳥居には複製が掲げてあります。手前にあるのは、御神像八体（木造・府指定文化財）です。



神輿は、屋根裏に永正八年（1511年）積川神社宝とあり、慶長八年（1603年）本殿再建にあたり淀殿が修理をしたのではないかと考えられます。屋根から下がる金飾りは、

慶長の頃の作風の特徴があると鑑定されました。

現在使われている神輿は、平成25年に修理しました。



御祭神・本社 生井神（いくいのかみ）、栄井神（さくいのかみ）、網長井神（つながいのかみ）、阿須波神（あすはのかみ）、波比岐神（はひきのかみ）

和泉五社由来の神々

相殿五座 彦火火出見尊（山幸彦）・天照大日靈尊（あまてらすおおひるめのみこと）
豊玉姫・火酢芹命（ほすせりのみこと）（海幸彦）・火明命（ほのあかりのみこと）
若宮二座 鷗草茸不合尊・武位起命
境内社 天神社 菅原道真公、八坂社 須佐乃男命、白髪社 猿田彦命、大海社 豊玉彦命 豊玉姫命、戎社 事代主命

奉拝
積川神社
和泉國四之宮
令和四年五月二十日

岸和田の山手にある積川神社。一の鳥居を入ってすぐの石段の脇に天然記念物の椋が大きな枝を張っていて、長くこの神社を見守っているように思えました。

積川宮司は、包近町の楠本神社、山直中町の中村神社、稲葉町の菅原神社、河合町の東葛城神社の宮司も兼任されています。（取材：近江、小木曾）

積川神社

岸和田市積川町350 072-479-0134



Ichigo-Ichien

【未来へ ここから】 子どもたちと共に

自泉アーティストバンク

うえぼやし

上林 莉奈



私は音楽教室でピアノ講師をしています。レッスンで子どもたちと接している中で、忘れていた音楽の喜びや楽しさを思い出す出来事がたくさんあります。

指導にあたり、初心者でもなるべく華やかに聴こえる曲を…この年齢になる頃にはこの教材を…と、最初は勝手に焦っていましたが、すぐにそれは間違いだと気付かされました。

ピアノの音を鳴らすことが楽しい、花丸をもらって嬉しい、発表会でたくさんの人の前で弾けたのが嬉しい…それは大人も同じことで、私も大人になってから初めてヴァイオリンを触ったときに音が鳴らせてるだけで嬉しかったことや、ただ音階を弾いているだけでも楽しかったことを思い出しました。音楽大学に入ってから、とにかくなんでも挑戦しようと課題や伴奏、オーディション等に追われる慌ただしい日々の中で、いつの間にかピアノが自分の中で義務のようになっていて、そんな小さな喜びのひとつひとつを忘れていました。

また生徒が頑張っていると、私ももっと頑張ろう！という気持ちになるので、そういう自分の姿を見せることこそ何よりの指導なのかなと感じました。

そしてこれからも自分の演奏を届けられる喜びを噛み締めて、ピアノを弾き続けたいと思います。

【未来へ ここから】 歌うって恥ずかしい

自泉アーティストバンク

土生 夏未



私たち声楽家の楽器は生きています。ゆえに、まずは楽器を育てる所から声楽家の訓練は始まります。勿論、発声などの基礎練習が大切であるのは周知の事実ですが、人生経験もまた、楽器を育てる上では欠かせません。

感動する、お別れをする、恋に落ちる、というような胸を揺さぶる思いが、私たちの楽器を成熟させます。歌い手がどのような人生を歩んできたかは全て歌が語ってくれるのです。それは逆に、ごまかせないという意味でもあります。

今は亡き、日本を代表するオペラ歌手の佐藤しのぶさんの「歌うって恥ずかしいよね」と仰られたお話が私の胸にずっと残っています。

歌うことは、自分の強みも弱みも全てを開示する行為なのです。それゆえ彼女は、裸で人前に出るより恥ずかしい、とも仰られました。

私はまだまだ人生経験が足りません。ですが、今まで支えてくださった方々の数だけ、感謝という経験を積んできました。だったら、それを歌で表せるようにもっと努力するだけです。

いつか私の人生を堂々と歌を通して伝えられる日を夢みて、私は今日も練習に励みます。

*岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

*一語一縁のページでは、会員の紹介に加え【未来へ ここから】と題し、自泉アーティストバンク登録者も紹介して行きます。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

第66回自泉フレッシュコンサート

日 時:令和4年4月16日(土)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:32人

〈皆さんの声〉

- ◆若さ溢れるエネルギッシュな演奏で、本当にフレッシュなコンサートでした。
- ◆レトロな雰囲気でも響きもよく、若い演奏家を育んでいく場として益々の発展を祈ります。
- ◆気持ちのこもったピアノの音、気分がスーッとしました。

※予定出演者の体調不良により、今回は八島碧さんお一人でのコンサートとなりました。



第67回自泉フレッシュコンサート

日 時:令和4年6月18日(土)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:22人



〈皆さんの声〉

- ◆感動しました。音楽はやはり生きる力をくれます。
- ◆洋館での演奏会、とても素敵でした。才能ある4人に感動しました。
- ◆いつか私もこの素敵なホールで演奏させていただきたいと感じました。

市政施行100周年記念事業

佐佐木勇蔵コレクション『短冊に見る日本人の美意識』

日 時:令和4年5月18日(水)~5月29日(日)
午前10時~午後5時まで(最終日は午後3時まで)
会 場:岸和田市立自泉会館展示室
入場者数:292人

〈皆さんの声〉

- ◆貴重な短冊を見ることができ嬉しく思います。
- ◆佐佐木勇蔵氏が集められた短冊を岸和田市に寄贈されているのを初めて知りました。他にも岸和田市に寄贈されているお宝があるのであれば今後は是非見たいです。
- ◆短冊についてのお話・短冊に実際に書いてみるワークショップ体験をしました。楽しませていただきました。



第8回自泉Re.フレッシュコンサート

日 時:令和4年5月28日(土)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:34人

〈皆さんの声〉

- ◆やっと自分の時間を取り戻した音楽家が、もう一度ステージに立てる場があるのは素晴らしい。
- ◆しなやかで力強い女性にエネルギーを頂きました。私も頑張ろう!
- ◆皆さんそれぞれの個性が素晴らしい。



弦楽四重奏 名曲アルバム ~音のカタログ~

日 時:令和4年7月1日(金)午後7時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:46人



〈皆さんの声〉

- ◆演奏前の解説がわかりやすく、より楽しめました。
- ◆弦楽四重奏ならではの奥行きのある豊かな音の響きが心地よく心に残る音楽の夕べとなりました。
- ◆酷暑の中でしたが、素晴らしい音色に癒やされました。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

お願い

岸和田文化事業協会では取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

- 自泉会館では、新型コロナウイルス感染症防止のため事業鑑賞人数等を縮小して行っています。
- 自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスク等の着用、社会的距離の確保、体調の悪い方の入館はご遠慮ください。また館内は換気のため扉等を開放しています。

●第11回自泉ジュニアコンサート

日 時: 令和4年8月21日(日)午後2時開演
会 場: 岸和田市立文化会館(マドカホール)
出演者: 一般公募し7月23日のオーディションで
選ばれた15名(小学生～高校生)
入場無料
定 員: 150名(申込必要)
電話又はメールで申込受付します。

●時代を楽しむ音楽会 バロック編 バロック音楽への誘い～300年前にタイムトリップ!～

日 時: 令和4年10月15日(土)午後2時開演
会 場: 岸和田市立自泉会館ホール
出演者: 日本古楽アカデミー
チケット代: 前売3,000円(当日500円増)
チケット販売場所: 岸和田市立自泉会館事務所
定 員: 40名

●第68回自泉フレッシュコンサート

日 時: 令和4年10月28日(金)午後6時30分開演
会 場: 岸和田市立自泉会館ホール
出演者: 渡邊 諭子(ソプラノ)
松原 みなみ(ソプラノ)
谷村 綾香(ピアノ)
チケット代: 会員前売1,000円(当日200円増)
一般前売1,200円(当日200円増)
チケット販売場所: 岸和田市立自泉会館事務所
定 員: 40名

●音楽劇「桃と赤鬼」出演者募集

市制施行70周年を記念して作成された「岸和田のむかし話」より
「桃と赤鬼」を題材とした音楽劇をします。
歌やダンス、演技の好きな方を募集します。
対 象: 小学生～中学生(経験は問いません)
音楽劇本番日: 令和5年2月5日(日)
※20回程度の稽古があります。
オーディション日程: 令和4年8月28日(日)午後2時
オーディション会場: 岸和田市文化会館(マドカホール)内
リハーサル室4
申込締切日: 8月14日(日)

●宇宙のお話VOL.2 ～矢治健太郎さんに聞く

日 時: 令和4年11月13日(日)午後2時開始
会 場: 岸和田市立自泉会館展示室
参加資格: 小学生(保護者は参加可)
参加費: 1,000円(資料代等含む)
定 員: 30名

■申し込み・問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

令和4年度(2022年度)(2022年4月～2023年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

文化情報

◆岸和田市市制施行100周年記念事業 「塩田千春展 Home to Home 家から家」

日 時: 令和4年8月11日(木・祝)～9月25日(日)
(但し、9/19以外の月曜日と9/17(土)、9/18(日)、
9/20(火)を除いて)開催
平 日: 10時～18時
土日祝: 10時～19時(入場は閉場30分前まで)
会 場: 岸和田市立自泉会館
入場料: 500円
高校生以下は学生証を提示すれば無料
※詳しくは、岸和田市のホームページをご覧ください。
主 催: 岸和田市
問 合: マドカホール
TEL 072-443-3800(9時～17時) 休館日: 月曜日
<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/9/chiharu-shiota.html>



●2022子どもえんげき祭inきしわだ

日 時: 令和4年8月17日(水)～21日(日)
会 場: 南海浪切ホール内各会場
チケット代: 前売1,000円(当日500円増)
主催・問合: 子ども演劇祭in岸和田実行委員会
※詳しくは、チラシまたはホームページを
ご覧ください。
<http://www.sozosha-net.jp/kishiwada-fes/>

nouvelle
Fontaine

vol.75

発行: 岸和田文化事業協会

発行日: 2022年7月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小末もとえ・近江和代・小木曾由季
片山智信・黒木幸子・阪井正明

編集後記...

自泉会館内には現在赤い糸に包まれつつあります。ワクワクして
います。8月11日より自泉会館で共に感動しませんか。
(黒 木)

<https://jisen.jp>

岸和田文化事業協会

検索

